

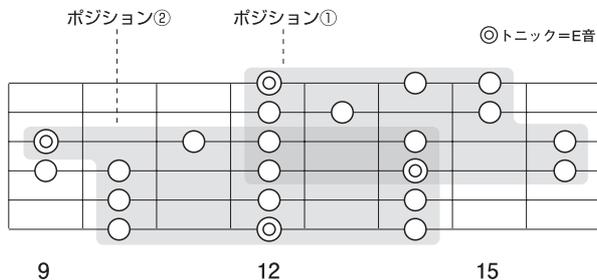
注意点1

理論

Eナチュラル・マイナーの横移動ポジションを覚えよう

このメイン・フレーズでは、Eナチュラル・マイナーの代表ポジション（12フレットを軸）を中心に、横移動による下降/上昇をくり返すことがポイントになる(図1)。2本弦6音パターンで横移動していくが、このフレーズはインベリテリがよく使用するものなので、ぜひ覚えておこう。彼はインサイド・ピッキングを得意としているので、アウトサイドを主体とするスケールの縦移動をあまり弾かない。このような横移動を中心にした高速フレーズを攻略するためには、指板を幅広く見られる【註】が必要になる。したがって、スケールの代表ポジションの両隣の数ポジションも頭に入れておくと良いだろう。

図1 メイン・フレーズのポジション(Eナチュラル・マイナー)



横移動を想定したポジションになっている。

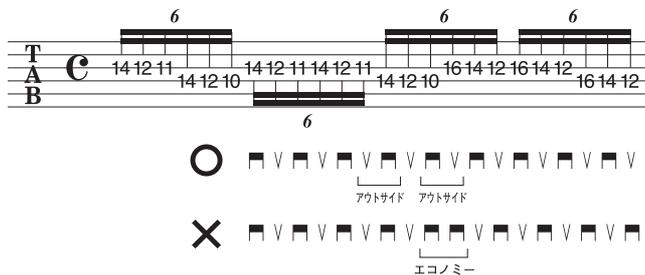
注意点2

右手

3小節目に入ったらアウトサイドにシフトせよ!

メイン・フレーズのピッキングは、1小節目～3小節目2拍目まではすべてインサイドだが、3小節目3拍目に入ると急にアウトサイドに変化するので注意しよう。特に3音目と4音目は、誤ってエコノミーで弾いてしまうことがあるので気をつけること(図2)。確かにこの部分だけを見ると、エコノミーでも演奏することができるが、ここをエコノミーで弾いてしまうと、以後のピッキングの順番がズレていってしまったり、パワフルなサウンドが出せなくなるので注意してほしい。したがって、最後までオルタネイトの規則性を守るためにも、3小節目3拍目ではインサイドからアウトサイドへキッチリ切り替えるように心掛けよう。

図2 メイン・フレーズ3小節目のピッキング順番

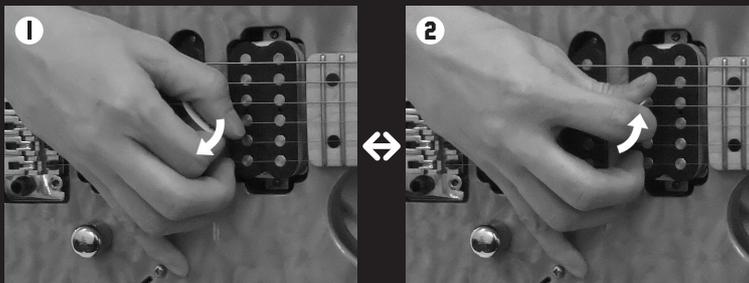


～コラム9～

教官の戯れ言

指先だけを“ウネウネ”動かすピッキング(写真①&②)は、弦を擦りながら鳴らすので音抜けが悪い。また指先のみを動かすため、弦移動がしづらく、リズムも取りづらいのでオススメできない。ただ、たまにプロ・ギタリストの中にも、この“ウネウネ”ピッキングで弾いている人がいるのではないかと、言われることもある。しかし、それはそう見えているだけで、彼らは実際には手首やヒジを中心にして弾いていて、細かいプレイをする時にさらに指先も少し動かしているのだ。したがって、ただ指先だけを動かす弾き方とは大きな差がある。注意してもらいたい。

“ウネウネ”は、本当にダメなの？ 指先ピッキングの真実を語ろう



指先だけで弦を擦るように弾くので、力強い音を出しづらいので注意しよう!

手首やヒジを使って弾いていないので、リズムにもノリづらい。また、弦移動も弾きづらいのだ!

【指板を幅広く見られる】 ピクナーほど指板に対する視野が狭い。それでは、超絶フレーズが弾けないのはもちろんのこと、面白いオリジナル・フレーズを生み出すことも不可能だ。幅広い視野を手に入れるため、日々鍛錬せよ!